



京都大学

オンラインセミナー

京大リベラルアーツ教室

茶編

1

2022年12月13日(火) 18:00~19:30

日本における喫茶文化史と茶道具の展開

伊住 禮次郎 一般財団法人 今日庵 茶道資料館 副館長

2

2023年1月17日(火) 18:00~19:30

茶による新型コロナウイルス不活化

松田 修 京都府立医科大学大学院医学研究科免疫学 教授

抹茶の認知機能改善効果

馬場 吉武 株式会社伊藤園中央研究所

3

2023年1月24日(火) 18:00~19:30

千利休とはどのような人物だったのか —茶の湯の成立史を踏まえつつ—

八尾 嘉男 株式会社歴史と文化の研究所 客員研究員

4

2023年1月31日(火) 18:00~19:30

お茶のカテキンやテアニンの成分が 蛍光反応でわかる?

近藤 直 京都大学大学院農学研究科生物センシング工学研究室 教授



京都大学は全学を通して幅広い分野で非常に長い歴史と顕著な研究成果を挙げています。

「京大リベラルアーツ教室」は、一つのテーマに関して文理融合の視点で、誰もが京都大学をはじめとする大学・研究の知見に触れることのできる講座です。京大の最先端の研究の成果と知見に深い興味をお持ちの方や学び直したいとお考えの方、自らの進路の参考にしたいという大学生や高校生の方に、お届けしようとするものです。

申込方法

ホームページよりお申し込みください
<https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=69>



受講料

各回: **1,500**円(税込) / 全4回(一括): **5,400**円(税込)

対象

“茶”に関連する研究・歴史・文化に興味のある方、社会人・学生問わず

申込締切日

各回、開催日の前日
※申込締切日を過ぎてのお申込みについては、見逃し録画配信のみご視聴いただけます。

主催

京大オリジナル株式会社 共催 京都大学産官学連携本部

問合せ先

京大オリジナル株式会社 プロジェクトマネジメント部
【mail】kensyu@kyodai-original.co.jp

京大リベラルアーツ教室 オンライン(Zoom)開催

- パソコンなどの端末、ネット環境が必要です。
- クレジットカードで決済いただいた方には、視聴方法について開催前日までに申込時のご登録アドレスにご連絡いたします。kensyu@kyodai-original.co.jpからのメールを受信できるように設定してください。
- ライブ配信後、後日、オンラインサイト上で録画配信します。(2023年2月28日まで視聴可能)
- 申込締切日以降のお申込は、録画配信をご視聴いただけます。(2023年2月14日まで申込可)
- お支払いはクレジットカードのみとなります。その他のお支払方法は承っておりませんので、ご了承ください。

歴史と最先端の研究から紐解く新たな“茶”ストーリー

私たちの生活において、非常に身近な存在であるお茶。自分で淹れて楽しむ方、ペットボトルで手軽に、という方、あるいは、茶道をたしなんでいる、という方もいらっしゃるかと思います。普段から親しんでいるお茶ですが、実は非常に様々な分野から研究されています。

歴史や文化としての茶、健康増進作用としての茶、茶葉成分の研究など、文理問わず広く扱われていることをご存じでしょうか。

「茶聖」と呼ばれる千利休生誕500年である2022年、改めて身近なお茶について一緒に考えてみませんか？“茶”の専門を異にする研究者の最新の研究や持論に触れることで、皆様の中でも新しい“茶”の物語の1ページが開かれる機会になることと思います。

1

2022年12月13日(火) 18:00~19:30



伊住 禮次朗

一般財団法人 今日庵
茶道資料館 副館長

【専門】

茶道史、金属工芸

日本における喫茶文化史と茶道具の展開

お茶の文化は、中国より日本に将来しました。文化の将来とは作法や思想のみならず、使用する道具類と共に伝わるものです。しかしながら、茶の湯文化は中国の影響を受けながらも日本独自の発展を遂げました。本講では、主として喫茶文化の将来から茶の湯文化に至るまでの史的展開を茶道具の歴史と共に論じます。そして、その特色や文化伝承の意義、今日における課題等についても考えてみたいと思います。

2

2023年1月17日(火)18:00~19:30



松田 修

京都府立医科大学
大学院医学研究科
免疫学 教授

【専門】

免疫学、再生医学

茶による新型コロナウイルス不活化

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のヒト-ヒト間の伝播には、発語の際の飛沫感染が最重要であり、感染者の唾液中のウイルスを不活化できれば、感染を抑制できる可能性がある。SARS-CoV-2を不活化する食品成分を探索したところ、茶(緑茶、抹茶、紅茶など)に含まれるカテキンとカテキン関連化合物が、ウイルスのスパイクたんぱくに結合し、感染力を失わせることを見出した。



馬場 吉武

株式会社伊藤園
中央研究所

【専門】

栄養生理学、
機能性表示食品の
研究開発

抹茶の認知機能改善効果

栄西が鎌倉幕府に献上した『喫茶養生記』。その冒頭には「茶は養生の仙薬なり。延齢の妙術なり。」とあり、茶には多くの健康効果があることが推察されます。疫学調査では緑茶をよく飲む人の認知機能障害が少ない事が報告され、さらに緑茶を継続摂取させた介入試験では、認知機能を改善する可能性が示されています。超高齢社会の重要な課題である認知機能の低下。講義では抹茶及びその成分の認知機能改善効果について紹介します。

3

2023年1月24日(火)18:00~19:30



八尾 嘉男

株式会社歴史と文化の
研究所 客員研究員

【専門】

日本近世史
茶の湯の歴史

千利休とはどのような人物だったのかー茶の湯の成立史を踏まえつつー

2022年は、千利休の生誕500年にあたりました。利休はその生涯、どのような茶の湯を行っていたのか、わかっているようでわかっていないことがたくさんあります。また、後世に茶聖、神格化されたことでできあがったイメージもあります。ここでは、茶の湯の成立史も踏まえながら、信頼性のある史料をもとに、千利休についてお話をしていきます。茶の湯は、抹茶を美味しく飲むために軽い食事がつきものです。そこで、食事(会席、懐石)のこともみなさんと考えてみようと思っています。

4

2023年1月31日(火)18:00~19:30



近藤 直

京都大学大学院
農学研究科
生物センシング工学
研究室 教授

【専門】

生物センシング工学

お茶のカテキンやテアニンの成分が蛍光反応でわかる？

お茶にはカテキンやテアニンの成分が含まれていますが、どれくらい入っているかはすぐにはわかりません。生物センシング工学分野では京都府茶業研究所と共同で、簡便に検査する方法を開発しました。